

第5次綾部市総合計画（前期基本計画） 目標とする指標の進捗状況（平成25年度）

綾部市では、平成23年度から平成27年度を計画期間とする第5次綾部市総合計画を平成23年3月に策定し、「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を実現するための施策を実施しています。

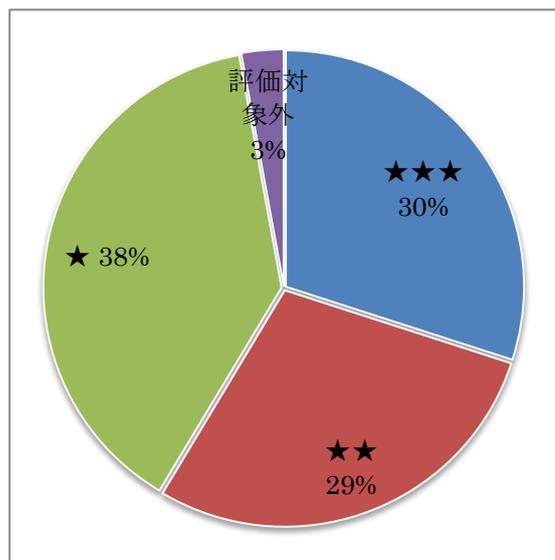
この前期基本計画の中で、施策の進捗度を客観的に測定するため、平成27年度を目標年次とする140項目の指標を定めており、今回、平成25年度末の取組結果を取りまとめましたので、お知らせします。

1. 評価の説明

| 評価 | | 説明 |
|-------|-------|-------------------------|
| ★★★★ | 目標達成 | 実績値が目標値を達成しているもの |
| ★★ | 順調に進捗 | 目標に向け順調に進捗しているもの |
| ★ | 未達成 | 目標達成に向けた更なる努力が必要なもの |
| 評価対象外 | | 実施しなかったもの、数値が把握できないものなど |

2. 目標とする指標に係る事業の取組結果

- 目標とする指標に係る事業の平成25年度における取組結果について、全140項目のうち、★★★★（目標達成）が42項目（30%）、★★（順調に進捗）が40項目（29%）、★（未達成）が54項目（38%）でした。
- 目標とする指標は、前期基本計画期間の最終年度である平成27年度に達成を目指す数値です。既に目標を達成した項目が30%となりました。
- 未達成の項目については、今後、目標達成に向けての更なる取組が求められます。

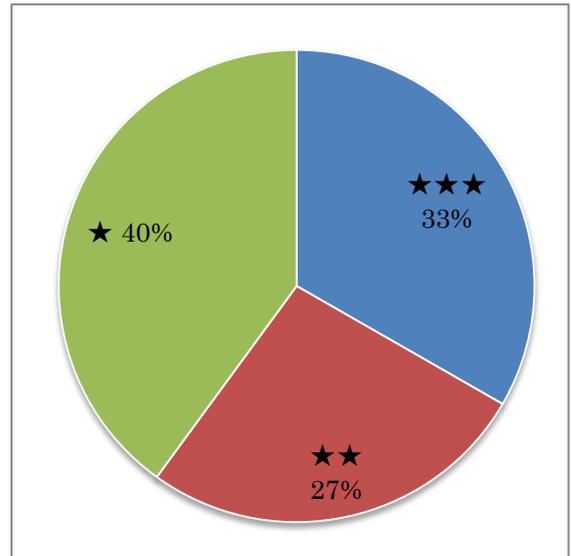


| 章 | ★★★★ | ★★ | ★ | 評価対象外 | 総計 |
|------|------|-----|-----|-------|------|
| 1章 | 5 | 4 | 6 | 0 | 15 |
| 2章 | 6 | 5 | 17 | 1 | 29 |
| 3章 | 8 | 8 | 5 | 0 | 21 |
| 4章 | 8 | 6 | 9 | 3 | 26 |
| 5章 | 10 | 12 | 14 | 0 | 36 |
| 6章 | 3 | 4 | 2 | 0 | 9 |
| 計画推進 | 2 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 計 | 42 | 40 | 54 | 4 | 140 |
| 割合 | 30% | 29% | 38% | 3% | 100% |

3. 各章ごとの平成25年度の取組結果

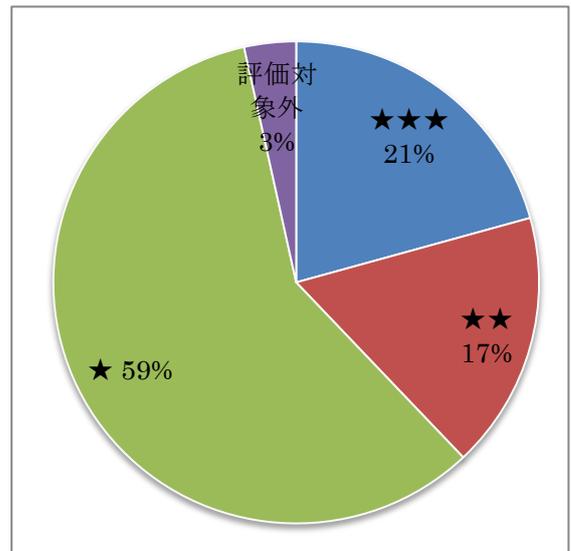
第1章 市民が輝き共に築くまちづくり

- この章では、人権尊重社会の実現、市民活動の促進、男女共同参画社会の実現、平和の発信と交流について、計画を定めています。
- 15項目のうち、60%の9項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、あやべ特別市民制度登録数が、1,863人となり、目標数値の1,500人を達成しました。
- コミュニティ助成事業数が、14件となり、目標の15件を目指して順調に進捗しています。
- ハートセンター利用件数は、358件となり、目標値の420件を目指した取組が必要となっています。



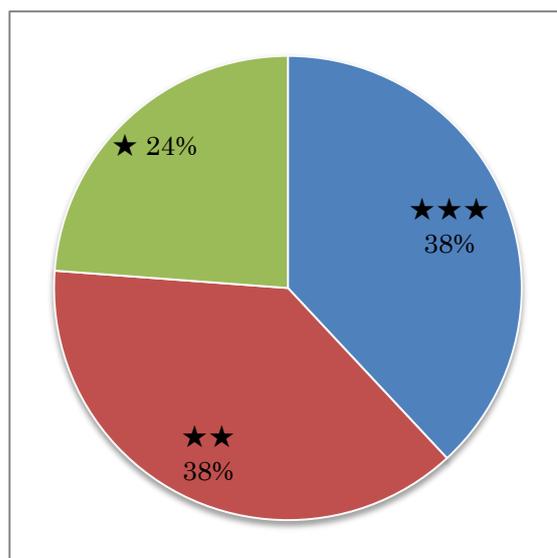
第2章 心豊かな人と文化をはぐくむまちづくり

- この章では、幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興、スポーツの振興について、計画を定めています。
- 29項目のうち、38%の11項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、図書館貸出冊数が、年間158,129冊となり、目標数値の156,000冊を上回りました。
- 小学校耐震化率は、92%となり、目標の100%を目指して順調に進捗しています。
- 中丹文化会館入場者数は、53,170人となり、目標値の60,000人を目指した取り組みが必要となっています。



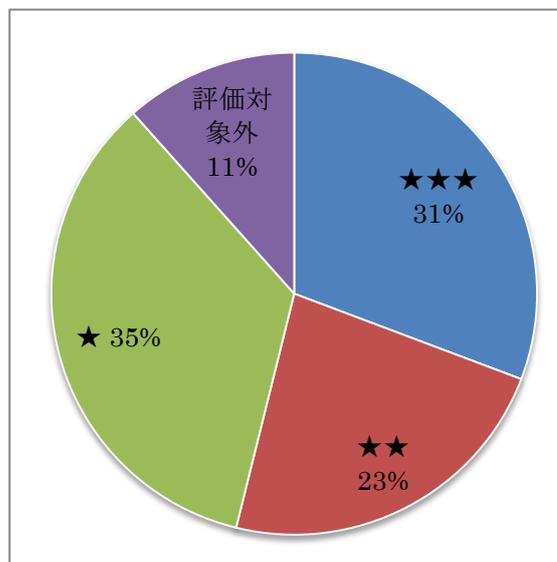
第3章 支えあい安心して暮らせるまちづくり

- この章では、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、地域福祉社会の実現、保健の推進、医療体制の充実、社会保障の適正運営について、計画を定めています。
- 21項目のうち、76%の16項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、乳幼児健康診査受診率が、97.7%となり、目標数値の97.0%を達成しました。
- 地域密着型サービス施設数が15施設となり、目標の16施設を目指して順調に進捗しています。
- 地域活動支援センター利用者数は、1,225人となり、目標数値の1,600人を目指した取組が必要となっています。



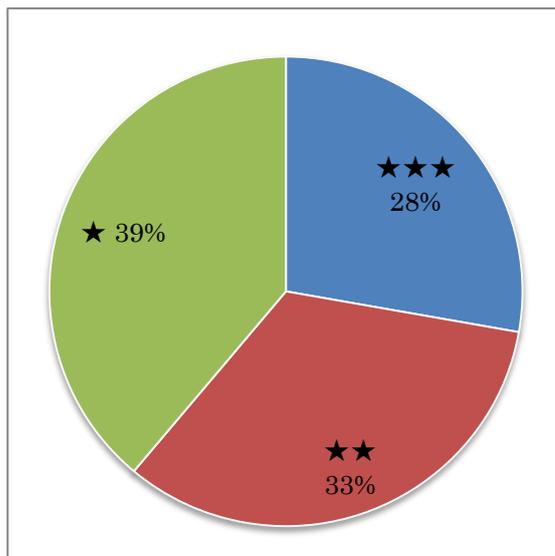
第4章 豊かさにとぎわいを生み出すまちづくり

- この章では、農林業・内水面漁業の振興、農村の活性化、商業の振興、工業の振興、観光交流の推進、地元雇用の確保について、計画を定めています。
- 26項目のうち、54%の14項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、有害鳥獣被害面積が、目標数値の年間6,708aに対し1,904aとなり、被害を大幅に削減することができました。
- 綾部工業研修所事業受講者数は、41人となり、目標の50人を目指して順調に進捗しています。
- 就職フェア参加者数は、129人となり、目標数値の200人を目指した取組が必要となっています。



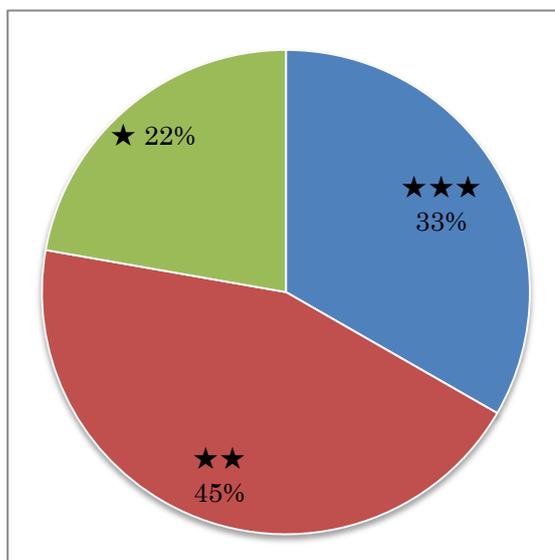
第5章 自然豊かで安全なまちづくり

- この章では、環境の保全と創造、廃棄物対策の推進、上水道の安定供給、下水道の整備促進、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。
- 36項目のうち、61%の22項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、水道普及率が、97.5%となり、目標数値の97.5%を達成しました。
- 水洗化人口は、25,430人となり、目標数値の26,100人を目指して順調に進捗しています。
- 資源物（紙類）回収量は1,242tとなり、目標の1,500tを目指した取組が必要となっています。



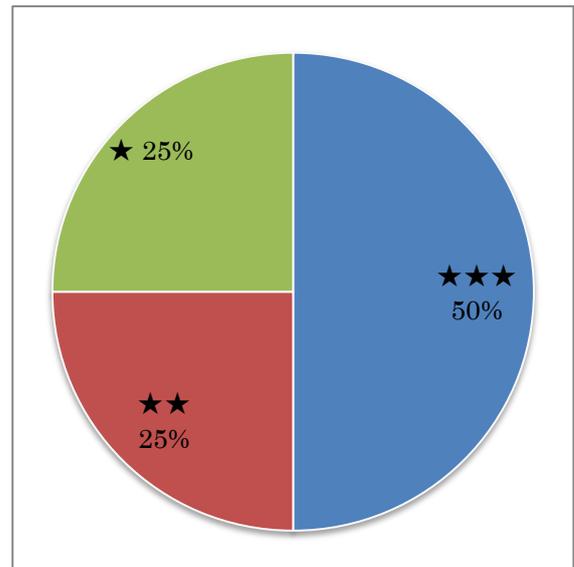
第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり

- この章では、土地利用と市街地の形成、住環境の整備、道路の整備、公共交通の充実、公園・緑地空間の充実、斎場・墓地の適正管理、地域情報化の推進について、計画を定めています。
- 9項目のうち、78%の7項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、鉄道利用通学費補助金利用者数が57人となり、目標数値の50人を達成しました。
- あやバス乗車人数が、222,626人となり、目標数値の245,000人を目指した取組が必要となっています。



計画推進のために

- この章では、第5次綾部市総合計画の推進のために必要な、開かれた市政の推進、効果的な行政運営、健全な財政運営、広域連携の推進について、計画を定めています。
- 4項目のうち、75%の3項目が、目標達成もしくは、順調に進捗となりました。
- 目標を達成した指標では、実質公債費比率が、13.6%となり、目標数値の18%未満を達成しました。
- コミュニティ FM 放送局行政情報提供件数が、年間1,416件となり、目標数値の1,100件を大きく上回りました。



目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 |
|-----|---------|-------------|-------|---------------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|-----|---|
| 1 | 1-1 | 人権尊重社会の実現 | 人権推進課 | 人権福祉センター各種講座参加者数 | 年間 | 6,019人 | 6,500人 | 5,801人 | 5,579人 | 7,153人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 2 | | | 社会教育課 | 全綾部市人研教育研究会参加者数 | 年間 | 747人 | 800人 | 705人 | 756人 | 694人 | ★ | 今後も内容の充実を図る必要がある。人推協が目指すところがふれることなく、加えて、市民が「人権」について考えたり、自分自身の差別意識に向き合えるものにする。 |
| 3 | | | 社会教育課 | 人権を考えるセミナー参加者数 | 年間 | 857人 | 1,000人 | 1,023人 | 1,141人 | 1,304人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 4 | | | 社会教育課 | 人権教育講演会参加者数 | 年間 | 438人 | 450人 | 0人 | 436人 | 437人 | ★ | 2月の人権教育講演会は市民に定着しており、毎年目標値に近い参加者数がある。共催団体である人推協と協力し、より多くの市民が参加できるものにする。 |
| 5 | | | 社会教育課 | 公民館人権研修参加者数 | 年間 | 1,158人 | 1,300人 | 1,369人 | 1,485人 | 1,239人 | ★★ | 中筋公民館での研修が気象警報のため中止となった。各公民館での人権研修・分館研修開催や充実を図り、人権問題について正しく理解することの大切さを伝えられる場とする。 |
| 6 | 1-2 | 市民活動の促進 | 市民協働課 | 自治会加入世帯率 | — | 83% | 85% | 82.0% | 82.0% | 80.0% | ★ | 自治会の活性化に向け、引き続き、コミュニティ活動、まちづくり活動などに対し、補助金の交付などによりその活動の支援を行う。 |
| 7 | | | 市民協働課 | コミュニティ助成事業数 | 年間 | 9件 | 15件 | 4件 | 9件 | 14件 | ★★ | 自治会等が利用しやすいように要綱改正を行い、ハード事業について経費下限を引き下げるとともに、補助金上限の増額を行った。今後も自治会等に対し、積極的に制度のPRを行う。 |
| 8 | | | 市民協働課 | ボランティア総合センター登録団体数 | 累計 | 92団体 | 100団体 | 103団体 | 108団体 | 108団体 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 9 | | | 市民協働課 | ボランティア総合センター登録団体会員数 | 累計 | 2,350人 | 2,600人 | 2,669人 | 2,926人 | 3,007人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 10 | | | 市民協働課 | ハートセンター利用件数 | 年間 | 372件 | 420件 | 461件 | 427件 | 358件 | ★ | 駐車場が少ないため不便であることや、ボランティア団体の会員が高齢化していることもあり、階段を上る必要があったり、トイレが洋式でないなどの理由により使いづらいことから、使い勝手の良い他の施設を利用されている実態がある。各団体への利用促進のPRに努める。 |
| 11 | 1-3 | 男女共同参画社会の実現 | 人権推進課 | 審議会・委員会等における女性委員の比率 | — | 28.8% | 40.0% | 27.5% | 30.5% | 29.7% | ★★ | 役職による任用、団体からの推薦については、女性が選出されることが少ない状況にある。庁内各課においても女性委員を積極的に登用し、女性委員の比率の向上を目指す。 |
| 12 | | | 人権推進課 | 男女共同参画講座参加者数 | 年間 | 316人 | 550人 | 617人 | 289人 | 295人 | ★ | 参加者の固定化がみられる。男性や若い年齢層の女性の参加はまだ少ないので、今後も呼びかけが必要である。また、市民への呼びかけだけでなく、様々な分野の団体、事業所等への呼びかけも行い、意識の向上を図る。 |
| 13 | 1-4 | 平和の発信と交流 | 企画政策課 | 地球市民の集い参加者 | 年間 | 150人 | 200人 | 180人 | 180人 | 120人 | ★ | 今後も多くの市民が参加できるように工夫する。身近で興味や関心が高まる内容にする。 |
| 14 | | | 秘書広報課 | あやべ特別市民制度登録数 | 累計 | 820人 | 1,500人 | 1,323人 | 1,604人 | 1,863人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 15 | | | 企画政策課 | 綾部国際交流協会日本語教室等参加者数 | 年間 | 765人 | 900人 | 833人 | 720人 | 840人 | ★★ | 対象者への周知が課題である。PRの方法や会員の日本語指導研修等、府の国際課・国際交流センター等とタイアップしながら、取り組みの充実を目指す。 |
| 2-1 | 幼児教育の充実 | | | なし | | | | | | | | |
| 16 | 2-2 | 学校教育の充実 | 学校教育課 | 小学校耐震化率 | — | 71% | 100% | 92% | 92% | 92% | ★★ | 平成25年度から26年度にかけて、上林小学校の改築工事を実施中。耐震補強を必要とする小学校の耐震化を進める。 |
| 17 | | | 学校教育課 | 中学校耐震化率 | — | 48% | 76% | 68% | 75% | 83% | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 18 | | | 社会教育課 | 高齢者学級参加者数 | 年間 | 5,118人 | 5,200人 | 4,434人 | 4,243人 | 4,014人 | ★ | 老人クラブの加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。老人クラブとの連携を図りながら、クラブ会員以外にも参加を呼びかける。地区状況に応じて、老人クラブとは別に高齢者学級の運営体制を確立する。 |
| 19 | | | 社会教育課 | 障害者教室参加者数 | 年間 | 390人 | 400人 | 390人 | 410人 | 398人 | ★★ | 視覚、聴覚、難聴の各学級では高齢化の傾向があり、参加者が減少している。障害の種類や障害の有無に関わらず、交流を通じて仲間づくりや障害者理解を進める。 |
| 20 | | | 社会教育課 | 地区公民館利用件数 | 年間 | 3,709件 | 4,300件 | 3,813件 | 3,914件 | 3,675件 | ★ | 参加者の減少や自主サークルの高齢化等により、利用件数は減少傾向にある。既存の自主事業の充実や公民館サークルの活性化等により、利用件数、利用者数の拡大を目指す。 |
| 21 | | | 社会教育課 | 地区公民館利用人数 | 年間 | 91,802人 | 93,000人 | 65,887人 | 65,905人 | 68,753人 | ★ | 前年度より利用人数は増加したものの、全体としては自主サークルの高齢化等により目標数値と乖離がある。既存の自主事業の充実や公民館サークルの活性化等により、利用件数、利用者数の拡大を目指す。 |

目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 |
|-----|-----|------------|------------|------------------|----|----------|----------|----------|----------|----------|-----|---|
| 22 | 2-3 | 社会教育の充実 | 社会教育課 | 中央公民館利用件数 | 年間 | 853件 | 900件 | 958件 | 885件 | 796件 | ★ | 自主サークルの高齢化等により、利用件数は減少傾向にある。貸館業務並びに自主事業の開催により、利用件数を確保する中で利用者数の増加を図る。 |
| 23 | | | 社会教育課 | 中央公民館利用人数 | 年間 | 34,221人 | 35,000人 | 31,119人 | 28,939人 | 30,119人 | ★ | 文化の仕掛け人事業や人権セミナーの参加者増加により、昨年より増加した。各種講座の小規模化や貸館に伴う使用者が減る中、指定管理者と連携し、利用者数の増加を図る。 |
| 24 | | | 社会教育課 | 図書館貸出冊数 | 年間 | 149,604冊 | 156,000冊 | 166,688冊 | 164,623冊 | 158,129冊 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 25 | | | 社会教育課 | 図書館蔵書冊数 | 累計 | 70,227冊 | 82,500冊 | 71,277冊 | 74,517冊 | 75,271冊 | ★★ | 建物の耐久性の問題からこれ以上の蔵書冊数を増やすことは出来ず、目標値に近付けなかった。市民の方の要望も選書に反映させるなどしているが、建物の耐久性の問題から、廃棄をしつつ新刊本の増加を図る。 |
| 26 | | | 社会教育課 | 一斉声かけ参加者数 | 年間 | 1,117人 | 1,300人 | 1,131人 | 997人 | 1,007人 | ★ | 子ども達への声かけや見守りの機運を高めるため、参加へのきっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協賛団体等にさらに呼び掛ける。 |
| 27 | 2-4 | 青少年健全育成の推進 | 社会教育課 | 夏の大ジャンポリー参加児童数 | 年間 | 110人 | 110人 | 92人 | 85人 | 100人 | ★ | 体験活動の場として、内容の充実を図るとともに、各小学校とさらに連携し参加者の拡大を目指す。 |
| 28 | | | 社会教育課 | 青少年地域活動支援事業登録団体数 | 累計 | 35団体 | 50団体 | 38団体 | 37団体 | 36団体 | ★★ | 少子化により子ども会も減少傾向にある中、2自治会合同で活動する団体もあり、申請団体数としてはやや減少した。子ども達の体験活動の充実を図るため、さらに多くの子ども会等に周知を図り活用を促すとともに、説明会を通じて、活動内容の充実を努める。 |
| 29 | | | 文化・スポーツ振興課 | 市美術展作品出展数 | 年間 | 313点 | 320点 | 282点 | 282点 | 303点 | ★ | 第30回記念の大会であったことから昨年より出品数・出品者数は増加した。文化協会が実施する初心者文化講座を積極的に支援するとともに、前年度出品者へのダイレクトメールの発送、美術用具店等、近隣市町の高校、大学へのPRに取り組む。 |
| 30 | | | 文化・スポーツ振興課 | 市美術展入場者数 | 年間 | 1,242人 | 1,370人 | 1,180人 | 1,233人 | 1,098人 | ★ | ギャラリートークの日程・内容を含めた市広報紙、エフエム、オフトーク等によりPRを行うとともに、今後さらなる近隣市町への周知に努める。また、募集要項も適宜見直しを行い、出品数・入場者数増を目指す。 |
| 31 | | | 文化・スポーツ振興課 | 総合文化祭作品出展数 | 年間 | 1,457点 | 1,500点 | 1,406点 | 1,405点 | 1,574点 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 32 | | | 文化・スポーツ振興課 | 総合文化祭入場者数 | 年間 | 5,172人 | 5,200人 | 4,917人 | 5,085人 | 4,957人 | ★ | 早い時期から広報紙に掲載したり、HPに記載するなど、市として積極的に支援を行う。 |
| 33 | 2-5 | 文化・芸術の振興 | 文化・スポーツ振興課 | 優良建築物活用事業利用件数 | 年間 | 20件 | 25件 | 15件 | 23件 | 20件 | ★ | 施設の利用希望が春・秋に集中するため、夏・冬の利用促進策を検討する。 |
| 34 | | | 文化・スポーツ振興課 | 中丹文化会館入場者数 | 年間 | 54,248人 | 60,000人 | 54,236人 | 55,325人 | 53,170人 | ★ | 中丹文化会館で開催されたイベントの集客力による。中丹文化会館で開催される事業について、市として積極的にPRに努める。 |
| 35 | | | 社会教育課 | 資料館利用者数 | 年間 | 8,026人 | 10,000人 | 8,029人 | 7,552人 | 7,902人 | ★ | 数を軽視することなく、かつマンネリ化することなく、資料の活用や利用方法をニーズに合わせて変えていく。 |
| 36 | | | 社会教育課 | 天文館入館者数 | 年間 | 10,155人 | 10,200人 | 9,282人 | 10,480人 | 11,311人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 37 | | | 文化・スポーツ振興課 | 体育施設利用者数 | 年間 | 217,546人 | 233,000人 | 230,211人 | 225,702人 | 211,234人 | ★ | 台風被害により第二市民グラウンドが半年間利用できなかったことが利用者減少の1つの理由として考えられる。施設利用のパンフレットを通じて市外合宿に努めるほか、体育協会や各競技団体と連携しながら大規模な大会誘致も視野に入れ、施設の活用促進を目指す。 |
| 38 | | | 文化・スポーツ振興課 | 府民総体参加者数 | 年間 | 1,533人 | 1,550人 | 1,558人 | 1,748人 | 1,492人 | ★ | 各競技の競技者高齢化等により全体の競技者人口の減少につながっていると考えられる。マスターズ部門の創設も検討されていることから、予選会にも幅広い選手の確保ができるよう環境を整える。 |
| 39 | | | 文化・スポーツ振興課 | (財)綾部市体育協会会員数 | 年間 | 3,598人 | 3,650人 | 3,433人 | 3,200人 | 3,026人 | ★ | 各競技の競技者高齢化等により全体の競技者人口の減少につながっていると考えられる。一人でも多くの市民が競技に関わることができる環境づくりの検討を進める。 |
| 40 | | | 文化・スポーツ振興課 | スポーツ少年団加入率 | - | 18.1% | 20.0% | 24.5% | 23.4% | 23.3% | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 41 | 2-6 | スポーツの振興 | 文化・スポーツ振興課 | チャレンジウィーク参加率 | - | 42.9% | 50.0% | 41.6% | 30.6% | 35.7% | ★ | 催しそのものの広報や、昨年より1週間の期間に延長したことが浸透していないと考えられる。自治会など住民にとって身近で参加しやすい団体で取り組めるように工夫しながらPRに努める。 |
| 42 | | | 文化・スポーツ振興課 | 市民駅伝参加者数 | 年間 | 559人 | 570人 | 722人 | 799人 | 732人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 43 | | | 文化・スポーツ振興課 | 二王門登山レース参加者数 | 年間 | 877人 | 1,000人 | 835人 | 874人 | 923人 | ★★ | 市内企業において参加を呼びかけていただいているほか、学校行事に位置付けていただいているところもある。個人参加が少ないので、もう少しPRを強化する必要がある。専門誌などのPRも可能な限り拡大する。 |

目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 |
|-----|-----|-----------|------------|----------------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|-------|--|
| 44 | | | 文化・スポーツ振興課 | 里山サイクリング参加者数 | 年間 | 355人 | 500人 | 382人 | 549人 | 0人 | 評価対象外 | 台風18号被害のため中止となった。市外の方にも多く参加いただいております。サイクリングチームに合わせて定着してきたことがうかがえる。今後もこれまで以上に参加者にスポーツとしての要素だけでなく観光型イベントとしても魅力を感じられる大会づくりを目指す。 |
| 45 | 3-1 | 子育て環境の充実 | 民生児童課 | 児童館・児童センター利用児童数 | 年間 | 12,814人 | 13,000人 | 15,219人 | 14,142人 | 14,179人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 46 | | | 民生児童課 | 保育所充足率 | - | 111.7% | 100% | 100.3% | 103.9% | 100.8% | ★★ | 市街地や新興住宅地等に近い保育所においては定員を上回る入所となる。引き続き、各保育所・幼稚園と連携しながら、園児の募集やPRを実施する。 |
| 47 | | | 民生児童課 | 幼稚園充足率 | - | 105.5% | 100% | 113.7% | 112.4% | 112.6% | ★ | 市街地や新興住宅地等に近い幼稚園においては定員を上回る入所となる。引き続き、各保育所・幼稚園と連携しながら、園児の募集やPRを実施する。 |
| 48 | | | 民生児童課 | 幼児発達サポート事業参加率 | - | 99.6% | 100% | 98.9% | 99.6% | 99.6% | ★ | 事後支援を充実させて、園および保護者支援の受け皿を増やすことを計画する。事業実施について、保護者の承諾が得られるように園および関係機関で引き続き検討する。 |
| 49 | 3-2 | 高齢者福祉の推進 | 高齢者介護課 | 高齢者配食サービス登録者数 | 累計 | 376人 | 400人 | 473人 | 509人 | 569人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 50 | | | 高齢者介護課 | 認知症サポーター養成講座受講者数 | 累計 | 2,503人 | 4,500人 | 5,603人 | 6,606人 | 7,228人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 51 | | | 高齢者介護課 | 地域密着型サービス施設数 | 累計 | 5施設 | 16施設 | 12施設 | 15施設 | 15施設 | ★★ | 平成26年度中に3施設が竣工予定で、目標の施設整備数を上回る予定である。 |
| 52 | | | 高齢者介護課 | 老人福祉センター清山荘入館者数 | 年間 | 23,618人 | 27,000人 | 22,327人 | 24,723人 | 28,802人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 53 | 3-3 | 障害者福祉の推進 | 福祉課 | 障害者介護給付費等支給事業利用者数 | 年間 | 3,448人 | 4,500人 | 3,901人 | 4,149人 | 4,353人 | ★★ | 必要な人に必要なサービスが提供できるよう相談支援を基本とし丁寧な支援を継続するとともに、障害福祉サービス事業所の開設について積極的に支援を進める。 |
| 54 | | | 福祉課 | 地域活動支援センター利用者数 | 年間 | 1,330人 | 1,600人 | 1,275人 | 1,460人 | 1,225人 | ★ | 若年層や知的、精神障害者などにも利用しやすい場所とするよう引き続き内容の工夫をする。 |
| 55 | | | 福祉課 | 精神障害者社会復帰相談者数 | 年間 | 1,653人 | 2,000人 | 1,831人 | 1,810人 | 2,659人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 56 | | | 福祉課 | 障害者生活支援事業相談件数 | 年間 | 7,645件 | 9,000件 | 7,723件 | 7,806件 | 8,047件 | ★★ | 多様化する相談及び障害福祉サービス利用計画作成の必須化に対応するため、平成26年度より相談支援事業所を1か所から4か所に増やし、意思疎通支援事業とともに支援体制を充実・強化した。今後、適切かつ迅速な相談支援ができるよう側面的な支援を行う。 |
| 57 | 3-4 | 地域福祉社会の実現 | 民生児童課 | シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数 | 累計 | 7か所 | 9か所 | 7か所 | 7か所 | 7か所 | ★ | 少子化・過疎化により、参加者やボランティアの確保が困難になってきている現状にあり、こうした状況の中、どのような運営をしていけばよいかといった心配がある。今後も、関係団体等との連携を図りながら、市内全地域を対象にした実施を目指す。 |
| 58 | | | 高齢者介護課 | 地域福祉活動補助金交付件数 | 年間 | 30件 | 35件 | 26件 | 29件 | 32件 | ★★ | 新規に結成されたサロンはあるが、社会福祉協議会にも同様の補助事業があり、そちらで補助を受ける団体がある。今後も新たに結成されるサロンがあると考えられるので、条件が揃えば補助金が受けられることを周知し、相談に応じる。 |
| 59 | 3-5 | 保健の推進 | 保健推進課 | ウォーキングイベント参加者数 | 年間 | 582人 | 600人 | 476人 | 333人 | 378人 | ★ | 開催時期、コースなどを検討し、今後も多くの市民が参加できるよう工夫する。 |
| 60 | | | 保健推進課 | 乳幼児健康診査受診率 | - | 95.6% | 97.0% | 96.7% | 97.0% | 97.7% | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 61 | | | 保健推進課 | 特定健康診査受診率 | - | 24% | 65% | 23% | 25% | 28% | ★★ | 検診の重要性の啓発不足がある。案内の全戸配布、広報、家庭訪問、企業との連携を検討する。 |
| 62 | | | 保健推進課 | がん検診受診率 | - | 14.9% | 30% | 17% | 16% | 18% | ★★ | 検診の重要性の啓発不足がある。案内の全戸配布、広報、家庭訪問、企業との連携を検討する。 |
| 63 | | | 保健推進課 | 健康相談指導人数 | 年間 | 4,461人 | 5,000人 | 3,591人 | 4,175人 | 6,574人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 64 | | | 保健推進課 | 食育健康教育指導人数 | 年間 | 2,891人 | 3,000人 | 4,667人 | 2,770人 | 3,928人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| | 3-6 | 医療体制の充実 | | なし | | | | | | | | |
| 65 | 3-7 | 社会保障の適正運営 | 市民・国保課 | 国民健康保険料収納率 | - | 94.76% | 96.80% | 94.71% | 95.12% | 95.68% | ★★ | 京都地方税機構との連携により、平成24年度より収納率は向上した。京都地方税機構との連携を密にし、保険料収納の強化を図る。口座振替の推進を図ると同時に、コンビニ納付の導入によりさらに納付しやすい環境を整える。 |

目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 | |
|-----|-----|--------------|-------|--------------------------|-----|----------|---------------------|---------------------|---------------------|---|-----|---|---------------|
| 66 | 4-1 | 農林業・内水面漁業の振興 | 農林課 | 農業後継者就農支援事業後継者数 | 累計 | 4人 | 10人 | 5人 | 5人 | 6人 | ★★ | 国・府の有利な後継者育成事業を活用できない方を対象とした制度であるため、事業対象者となる認定農業者等の担い手(子)が少ない。引き続き、事業の活用について該当者に周知する。 | |
| 67 | | | 農林課 | 有害鳥獣被害面積 | 年間 | 13,416a | 6,708a | 6,589a | 2,202a | 1,904a | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 68 | | | 農林課 | 有害鳥獣防除施設対象面積 | 年間 | 46,000a | 80,500a | 132,577a | 132,577a | 140,700a | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 69 | | | 農林課 | 地産地消(朝市)参加生産グループ | 年間 | 11団体 | 16団体 | 15団体 | 16団体 | 16団体 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 70 | | | 農林課 | 間伐材運搬対策事業搬出量 | 年間 | — | 3,500m ³ | 3,240m ³ | 3,994m ³ | 3,451m ³ | ★★ | 高性能林業機械で間伐することにより、機械操作の技術習得は進んでいる。引き続き、搬出間伐の作業効率を高めることに努める一方、地元丹州材の利用推進に向け、「綾部市林業戦略会議」を立ち上げ、検討を進める。 | |
| 71 | | | 農林課 | 内水面漁業振興対策事業放流量 | 年間 | 2,936kg | 3,000kg | 2,460kg | 2,264kg | 2,170kg | ★ | 遊漁券の販売数低下、補助金減額、稚魚の価格高騰などの要因によって組合経営が困難な状況となったため、放流量を減少せざるを得なくなった。今後も予算の範囲内で放流経費に対して補助し、水産資源の確保を図る。 | |
| 72 | | | 農林課 | 農業法人数 | 累計 | 11法人 | 15法人 | 15法人 | 17法人 | 20法人 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 73 | | | 農林課 | 認定農業者数 | 累計 | 57人 | 62人 | 48人 | 47人 | 50人 | ★ | 認定農業者の高齢化により経営規模を縮小される傾向があり、再認定率が悪くなった。また、農業経営を見直す中、組織化を図るため個人の認定農業者が減少した(個人担い手数人→法人化等組織化)。引き続き啓発に努める。 | |
| 74 | 農林課 | 新規就農者数 | 累計 | 50人 | 60人 | 45人 | 45人 | 50人 | ★ | 青年就農給付金等新たな国の支援制度ができ、新規就農者が増えることが予想される。ただ、数を増やすだけでなく、担い手がいない集落へうまく結びつけることが重要である。新規就農希望者を把握し、引き続き啓発に努める。 | | | |
| 75 | 4-2 | 農村の活性化 | 観光交流課 | 里山交流研修センター施設利用者数 | 年間 | 6,687人 | 7,000人 | 7,097人 | 9,216人 | 9,228人 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 76 | | | 観光交流課 | 里山交流研修センター宿泊者数 | 年間 | 1,836人 | 2,000人 | 732人 | 969人 | 959人 | ★ | 夏場の合宿受け入れ強化のため、これまで利用のあった団体にアプローチをかけるとともに、新規開拓のため情報発信力を高める。また、昨年度から開催している交流大学の東京校を継続することにより、綾部に興味を持ってもらい、里山ねっと・あやべに来てもらうことで宿泊者の獲得を図る。 | |
| 77 | | | 定住促進課 | 定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い) | 年間 | 15世帯 | 15世帯 | 30世帯 | 20世帯 | 19世帯 | ★★ | 目標を達成できた。 | |
| 78 | | | 観光交流課 | 農村都市交流人口(受入数) | 年間 | 2,527人 | 3,000人 | 1,836人 | 3,260人 | 3,000人 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 79 | 4-3 | 商業の振興 | 商工労政課 | 商店数 | 累計 | 514店 | 514店 | | | | | 評価対象外 | |
| 80 | | | 商工労政課 | 商品販売額 | 年間 | 554億円 | 580億円 | | | | | | 評価対象外 |
| 81 | | | 商工労政課 | 古民家等活用店舗件数 | 累計 | 15店 | 30店 | 17店 | 17店 | 17店 | ★★ | NPO法人綾部まちなかネット等と連携し、空き店舗情報の収集や情報提供を行うとともに、空き店舗支援事業のPRを行う。また、町屋の魅力を広く情報発信し、商店街だけでなく市内商業の発展、まちなかにぎわいづくりに寄与している古民家を再生した店舗で組織する「あやべ町屋倶楽部」とも連携を図る。 | |
| 82 | 4-4 | 工業の振興 | 商工労政課 | 綾部工業研修所事業受講者数 | 年間 | 33人 | 50人 | 29人 | 26人 | 41人 | ★★ | 徐々に景気の回復の兆しも見える中で、目標には達していないが、多くの参加があった。関係機関と連携し、市内や近隣の企業へのPRに努める。 | |
| 83 | | | 商工労政課 | 北部産業技術支援センター機械貸付件数(市内企業) | 年間 | 171件 | 250件 | 455件 | 339件 | 331件 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |
| 84 | | | 商工労政課 | 綾部市工業団地立地企業数 | 累計 | 9社 | 10社 | 9社 | 9社 | 9社 | ★ | 11月に残り1区画の契約を締結し、全区画契約完了となった。今後は新たな産業用地の確保について検討する。 | |
| 85 | | | 商工労政課 | 製造品出荷額等 | 年間 | 864億円 | 1,200億円 | 978億円 | 778億円 | | | | 評価対象外(調査中のため) |
| 86 | | | 商工労政課 | 工場設置奨励金交付件数 | 年間 | 22件 | 25件 | 18件 | 16件 | 18件 | ★ | 事業所実態調査においても、施設や設備の老朽化が生産面の課題とされている企業が多く、平成25年度から対象要件も緩和し、さらなるPRを進める。 | |
| 87 | | | 観光交流課 | 日帰り観光客数 | 年間 | 360,221人 | 430,000人 | 383,386人 | 388,137人 | 510,022人 | ★★★ | 目標を達成できた。 | |

目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 |
|-----|-------|----------------|-------|--------------------|--------|----------|----------|----------|----------|--|-----|---|
| 88 | 4-5 | 観光交流の推進 | 観光交流課 | 宿泊観光客数 | 年間 | 62,519人 | 65,000人 | 61,823人 | 55,878人 | 61,095人 | ★ | 新規に開設された温泉施設に併設されている宿泊施設の宿泊者数が増加したが、他の宿泊施設では、大きな変化は見られず、全体として対前年比で9.3%の増加に留まり、目標を達成できなかった。民間の会員制度を活用して、カヌーやサイクリングなどのイベントの情報提供を行うことで宿泊客の増加を図る。 |
| 89 | 4-6 | 地元雇用の確保 | 商工労政課 | 就職フェア参加企業数 | 年間 | 21社 | 40社 | 20社 | 22社 | 34社 | ★★ | 平成25年度においては、会場、日程を変更したこと等により、参加企業数は増加した。現状の景気は回復基調にあることから、地元企業も採用意欲は高まりつつある。引き続き、綾部市雇用促進連絡会議の構成機関や他の関係機関との連携により、参加者の拡大を図るとともに、企業の参加しやすい環境整備と積極的な参加呼びかけを行う。 |
| 90 | | | 商工労政課 | 就職フェア参加者数 | 年間 | 168人 | 200人 | 110人 | 85人 | 129人 | ★ | 景気の回復基調に伴い、雇用情勢にも改善の兆しが見られる。フェアは地元就職希望の求職者にとって重要な機会であり、継続的に参加企業数の増加と業種、職種の拡充等を図っていく。 また、情報発信においては、U・Iターンを含めた定住促進を見据え、情報が必要な対象者に的確に伝達するよう就職情報等提供制度の充実や関係機関とのネットワークの活用などによる情報提供を推進する。今後も、参加者のニーズを把握するとともに、関係機関との連携強化により、情報提供や内容の充実などを行う。 |
| 91 | | | 商工労政課 | 綾部市勤労者住宅資金融資件数 | 累計 | 63件 | 70件 | 63件 | 63件 | 63件 | ★ | 制度の利用促進を図るため、引き続き融資制度内容の見直しを検討するとともに、金融機関と連携し、広報、情報提供に努める。 |
| 92 | 5-1 | 環境の保全と創造 | 環境保全課 | コスモス祭来場者数 | 年間 | 3,500人 | 3,500人 | 1,600人 | 2,200人 | 1,600人 | ★ | 台風の影響でコスモス園が被害を受け、残ったコスモスだけのイベント開催となった。災害後の開催のためムードの盛り上がりには欠けたところもあった。平成26年度からはシルバー人材センターでの主催イベントとなるため協力し、参加者の増加に努める。 |
| 93 | | | 環境保全課 | 廃食油回収量 | 年間 | 6,920ℓ | 7,000ℓ | 6,168ℓ | 6,882ℓ | 5,271ℓ | ★ | ポリタンク設置数、回収場所箇所数についての変化はないが回収量が減少した。家庭での食用油の利用率減少について、今後状況を確認する。 |
| 94 | | | 環境保全課 | 環境講演会参加者数 | 年間 | 200人 | 300人 | 200人 | 160人 | 120人 | ★ | 市民へのPRについて新たな方法を話し合い、講演内容についても身近な問題についての内容にするなど検討する。 |
| 95 | | | 環境保全課 | BOD環境基準適合率 | - | 100% | 100% | 100% | 96% | 100% | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 96 | | | 環境保全課 | 上林川を美しくする会薺刈り等参加者数 | 年間 | 120人 | 120人 | 133人 | 124人 | 90人 | ★ | 3回目の薺刈り作業が台風接近により中止となったため、例年より参加者が減少したと考えられる。今後も会員にとどまらず活動に賛同いただけるボランティアの方を広く募集する。 |
| 97 | | | 環境保全課 | 資源物(紙類)回収量 | 年間 | 1,326t | 1,500t | 1,302t | 1,369t | 1,242t | ★ | 資源ごみ回収事業費補助金制度の利用頻度が減少したためと考えられる。資源ごみ回収を利用しやすくするよう検討する。 |
| 98 | 環境保全課 | 資源物(衣類)回収量 | 年間 | 24t | 25t | 29t | 37t | 37t | ★★★ | 目標を達成できた。 | | |
| 99 | 環境保全課 | リサイクル推進員研修会参加率 | - | 63% | 70% | 63% | 74% | 67% | ★★ | 今後も多くのリサイクル推進員に参加してもらえよう工夫する。具体的に興味や関心が高まるような内容、また土・日開催も視野に入れて検討する。 | | |
| 100 | 環境保全課 | 可燃ごみ収集量 | 年間 | 7,081t | 6,500t | 6,678t | 6,494t | 6,335t | ★★★ | 目標を達成できた。 | | |
| 101 | 環境保全課 | 不燃ごみ収集量 | 年間 | 716t | 650t | 732t | 693t | 753t | ★ | 分別内容の変更と、土のついた草や、分別方法が曖昧なごみを不燃ごみとして捨てる意識が定着してきたと考えられる。現在不燃ごみに含まれているもので、資源化できるものがないか検討する。 | | |
| 102 | 5-2 | 廃棄物対策の推進 | 環境保全課 | 1人当たりごみ排出量(家庭ごみ) | 年間 | 222kg | 200kg | 217kg | 206kg | 204kg | ★★ | 家庭ごみの割合は若干減少傾向ではあるが、ほぼ横ばい状態である。3R(リデュース・リユース・リサイクル)の啓発を進める。 |
| 103 | | | 環境保全課 | 1人当たりごみ排出量(粗大ごみ) | 年間 | 8kg | 7kg | 8kg | 10kg | 19kg | ★ | 空き家になった家などから出るごみが増えている。今後も空き家が増えることが予測され、回収量は増加するものと思われるが、3Rの啓発により、排出量の抑制を図る。 |
| 104 | | | 環境保全課 | 1人当たり資源物回収量 | 年間 | 51kg | 60kg | 53kg | 58kg | 54kg | ★★ | 資源ごみ回収事業費補助金や古紙回収保管庫設置費補助金等の補助金制度の利用頻度が減少したためと考えられる。資源ごみ回収を利用しやすくするよう検討する。 |
| 105 | | | 環境保全課 | し尿処理量 | 年間 | 12,693kℓ | 8,701kℓ | 11,860kℓ | 10,833kℓ | 10,836kℓ | ★★ | 現状としては、公共工エリアの接続状況や特定地域の水洗化の進捗状況などに加え、水洗化が進み、収集量の減少につながる横ばい状態となっている。さらに自然災害等の要因も考えられる。水洗化の進捗と合わせて、着実な収集世帯の減少化を図るとともに作業の合理化を進める。また、災害時を前提とした対策を検討する。 |
| 106 | | | 環境保全課 | 浄化槽汚泥処理量 | 年間 | 15,585kℓ | 18,501kℓ | 14,511kℓ | 15,874kℓ | 15,127kℓ | ★ | 浄化槽汚泥の処理については、一時的な著しい増加状態は継続しないと予測されるが、今後も一定の増加傾向を葆ちながら推移していくと想定し、汚泥処理の適正処理能力を確保することを前提とした必要な施策を実施する。 |
| 107 | | | 水道課 | 水道普及率 | - | 97.3% | 97.5% | 97.4% | 97.5% | 97.5% | ★★★ | 目標を達成できた。 |

目標とする指標の進捗状況一覧

| No. | 章・節 | 基本施策 | 担当課 | 目標とする指標 | 区分 | 基準(21) | 目標(27) | 23実績 | 24実績 | 25実績 | 評価 | 説明 |
|-----|--------|------------|-------|-------------------|-----|---------|---------|---------|---------|-----------|-----|--|
| 108 | 5-3 | 上水道の安定供給 | 上水道課 | 上水道布設延長 | 年間 | 2,210m | 2,500m | 2,350m | 2,634m | 2,143m | ★ | 公共下水道工事及び農業集落排水工事等と今後も連携を図り、事業の進捗を図る。 |
| 109 | | | 上水道課 | 上水道新設延長 | 年間 | 324m | 1,000m | 1,689m | 1,703m | 1,239m | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 110 | 5-4 | 下水道の整備促進 | 下水道課 | 水洗化人口 | — | 22,000人 | 26,100人 | 23,212人 | 24,744人 | 25,430人 | ★★ | 人口減少に伴い水洗化率は微増した。今後も引き続き、文書による接続依頼等を行い事業の推進を図る。 |
| 111 | | | 下水道課 | 汚水処理人口普及率 | — | 59.3% | 70.0% | 64.3% | 68.6% | 71.4% | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 112 | 5-5 | 防災対策の推進 | 総務課 | 自主防災組織数 | 累計 | 121組織 | 196組織 | 130組織 | 130組織 | 132組織 | ★★ | 今後も、防災基本条例の啓発や自主防災組織ネットワーク会議の加入組織同士の連携を強化し、活動事例の共有化や講演会への積極的な参加を呼びかけ、組織設立の必要性を啓発する。また、自主防災組織育成事業費補助金の補助率や補助上限額、補助回数制限について見直しを行い、組織の設立と継続的な組織活動を支援する。 |
| 113 | | | 都市建築課 | 木造住宅耐震診断補助実施数 | 年間 | 7件 | 15件 | 12件 | 23件 | 14件 | ★★ | 他市の取り組みも参考にすることで、さらに制度の広報に努める。 |
| 114 | | | 都市建築課 | 木造住宅改修補助件数 | 年間 | 1件 | 10件 | 11件 | 15件 | 11件 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 115 | | | 建設課 | 災害時避難所整備実施箇所数 | 累計 | 3箇所 | 9箇所 | 4箇所 | 4箇所 | 8箇所 | ★★ | 事業の性格上一か所に数年かけることは本意ではない中で、今後とも京都府、地元と連携を図り事業の進捗を図る。 |
| 116 | | | 建設課 | 急傾斜地崩壊対策事業新規実施地区数 | 累計 | — | 5地区 | 1地区 | 1地区 | 4地区 | ★★ | 事業の性格上一か所に数年かけることは本意ではない中で、今後とも京都府、地元と連携を図り事業の進捗を図る。 |
| 117 | | | 総務課 | 防災座談会等の開催数 | 年間 | 21回 | 25回 | 21回 | 37回 | 20回 | ★ | 今後も、自主防災組織ネットワーク会議を通じて、粘り強く防災活動の必要性を啓発する。また、総合防災訓練等の機会を通じて住民参加型の訓練を実施し、その中で自主訓練として、防災研修会の開催についても啓発する。 |
| 118 | 5-6 | 消防・救急体制の充実 | 消防本部 | 各訓練・行事参加消防団員数 | 年間 | 4,163人 | 4,400人 | 4,210人 | 4,690人 | 4,558人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 119 | | | 消防本部 | 訓練実施事業所・自治会数 | 年間 | 66か所 | 100か所 | 44か所 | 48か所 | 54か所 | ★ | 今後も様々な機会をとらえて、多くの事業所や自治会(市民)が訓練を実施(参加)できるような指導体制を調整・対応する。 |
| 120 | | | 消防本部 | 訓練参加者数 | 年間 | 4,783人 | 5,500人 | 4,802人 | 4,867人 | 3,967人 | ★ | 今後もより多くの事業所従業員や市民が参加できるよう、訓練の必要性について啓発を行うとともに、身近で興味や関心が高まるような訓練の内容を取り入れる。 |
| 121 | | | 消防本部 | 防火座談会参加者数 | 年間 | 539人 | 800人 | 323人 | 239人 | 285人 | ★ | 多くの市民が参加できるよう、より身近で興味や関心が高まるような広報を行い、内容についても工夫する。 |
| 122 | | | 消防本部 | 救命講習受講者数 | 累計 | 7,571人 | 12,000人 | 8,763人 | 9,558人 | 9,998人 | ★★ | 新規受講者数を増やしていくことも必要だが、定期的な講習の受講も大切であるため、これまで同様、事業所等に出向いて講習を行う出前講座を積極的に実施する。 |
| 123 | 5-7 | 生活の安全性の向上 | 市民協働課 | 交通安全啓発活動参加者数 | 年間 | 580人 | 620人 | 520人 | 670人 | 520人 | ★ | 引き続き、交通安全関係団体が連携し、街頭啓発活動や交通安全教室、安心安全のまちづくり市民大会など、交通安全に対する市民意識の高揚を図る取り組みを実施する。 |
| 124 | | | 市民協働課 | 防犯啓発活動参加者数 | 年間 | 600人 | 640人 | 540人 | 690人 | 623人 | ★★ | 今後も、防犯や市民の安全安心に取り組み団体が連携し、防犯に係る街頭啓発運動や安全安心のまちづくり市民大会など、市民生活の安全安心に対する市民意識の高揚を図る取り組みを実施する。 |
| 125 | | | 商工労政課 | 消費生活出前講座受講者数 | 年間 | 193人 | 250人 | 1,101人 | 508人 | 633人 | ★★★ | 目標を達成できた。 |
| 126 | | | 商工労政課 | 消費生活相談件数 | 年間 | 96件 | 85件 | 105件 | 115件 | 124件 | ★★ | 啓発活動を強化するとともに、複雑化する悪質商法の手口にあわないため、出前講座等を実施し、被害の未然防止に努める。 |
| 127 | 商工労政課 | 多重債務相談件数 | 年間 | 18件 | 12件 | 11件 | 5件 | 8件 | ★★★ | 目標を達成できた。 | | |
| 6-1 | 市街地の形成 | | | なし | | | | | | | | |
| 128 | 6-2 | 住環境の整備 | 定住促進課 | あやべ桜が丘団地販売区画数 | 累計 | 386区画 | 459区画 | 398区画 | 403区画 | 412区画 | ★★ | 消費増税(第1段階)に対して住宅ローン減税の拡充やすまい給付金制度などの対策により、一定の効果が認められたと考えられる。消費増税(第2段階)を控え、駆け込み需要などによる桜が丘団地の新たな顧客を獲得するため、ハウスパーク運営協議会と連携し、販売戦略を検討する。 |
| 129 | 6-3 | 道路の整備 | 建設課 | 市道舗装率 | — | 91.0% | 92.0% | 91.2% | 91.3% | 91.3% | ★★ | 市道路線の老朽化が著しく、交通の安全性を確保するための維持管理に要する整備を主に行ったため、未舗装道路の舗装については、思うような進捗を図ることができなかった。市道の安全性を確保するための維持管理に要する整備を行いながら、未舗装道の舗装についても計画的な実施に努める。 |

